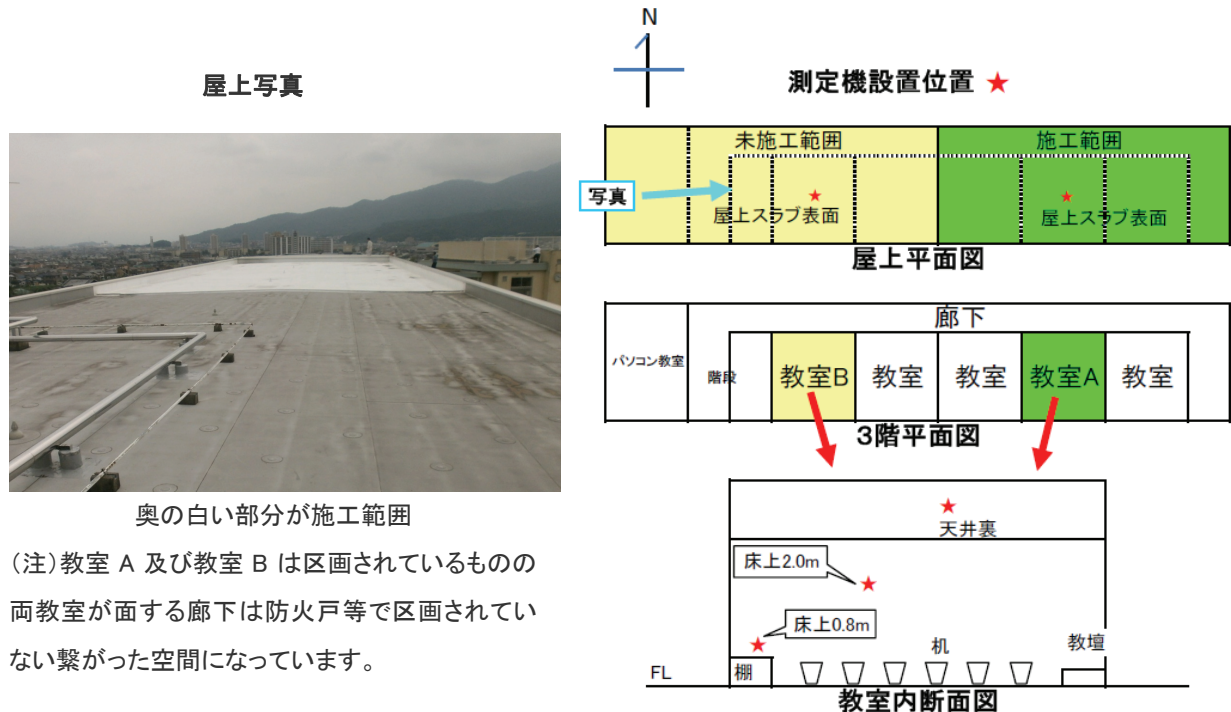


## 遮熱塗料を用いた建物の断熱効果に関する調査（平成 22～24 年度）

遮熱塗料を用いた建物の断熱効果を調査するために、福岡市の小学校において、『平成22年8月に遮熱塗料を塗った屋上スラブ直下の教室 A』及び『遮熱塗料を塗らなかった屋上スラブ直下の教室 B』の各ポイントの温度を8月中旬で3年間に亘って測定・比較した結果を以下の表にまとめましたので、お知らせいたします。



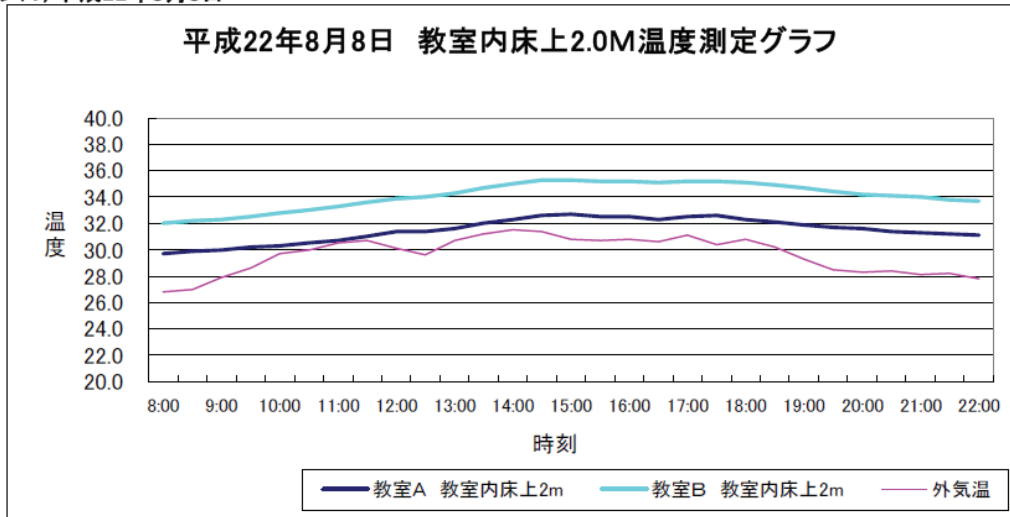
### 遮熱塗料を用いた建物の断熱効果に関する測定・比較の結果表（平成 22～24 年度）

グラフ	測定期日	位置	ピーク時の低減温度(教室 B-教室 A)
①	平成 22 年 8 月 8 日	床上 2.0m	2.6℃
		床上 0.8m	2.7℃
②	平成 23 年 8 月 12 日	床上 2.0m	1.8℃
		床上 0.8m	2.0℃
③	平成 24 年 8 月 18 日	床上 2.0m	1.9℃
		床上 0.8m	1.5℃

以上より、廊下が繋がっている条件にもかかわらず、屋上に遮熱塗料を塗ることによって教室内の温度を2℃前後低減できることがわかりました。(詳細な温度変化については2及び3ページをご参照ください)

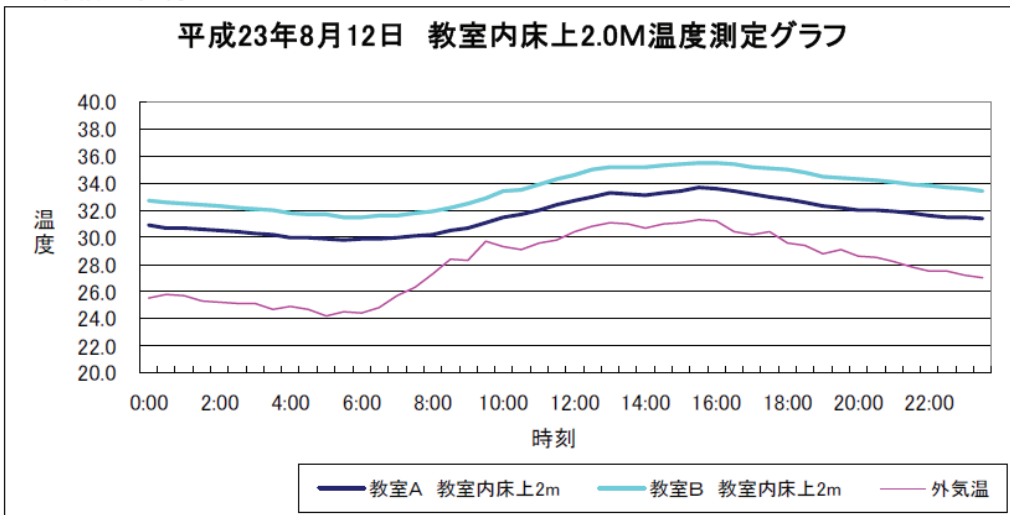
参考:今回使用した遮熱塗料は、任意に選択したケミカルカチオンパック(ムライケミカルパック株式会社製)です。

(グラフ:1)平成22年8月8日



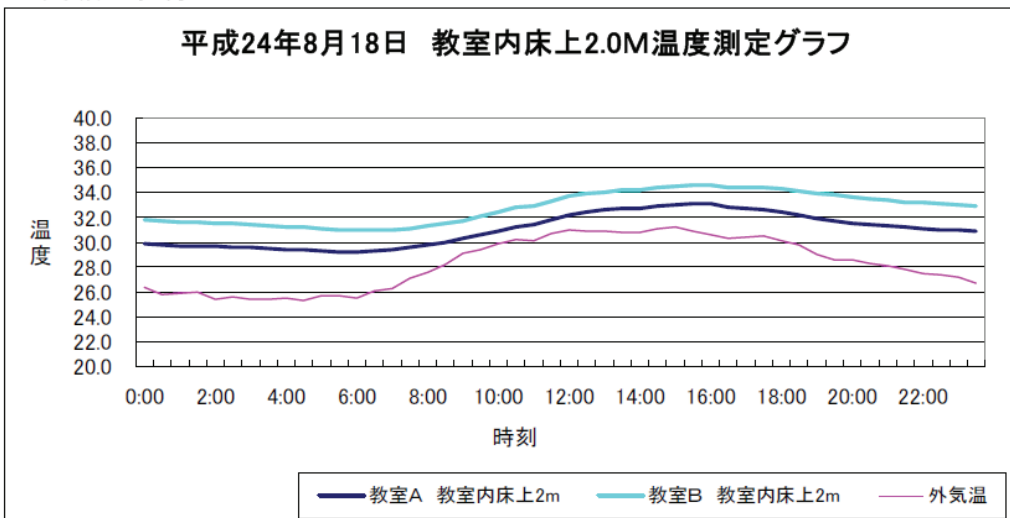
教室内床上2m	施工面(教室A)	未施工面(教室B)	温度差
ピーク時の温度差	32.7°C	35.3°C	2.6°C

(グラフ:2)平成23年8月12日



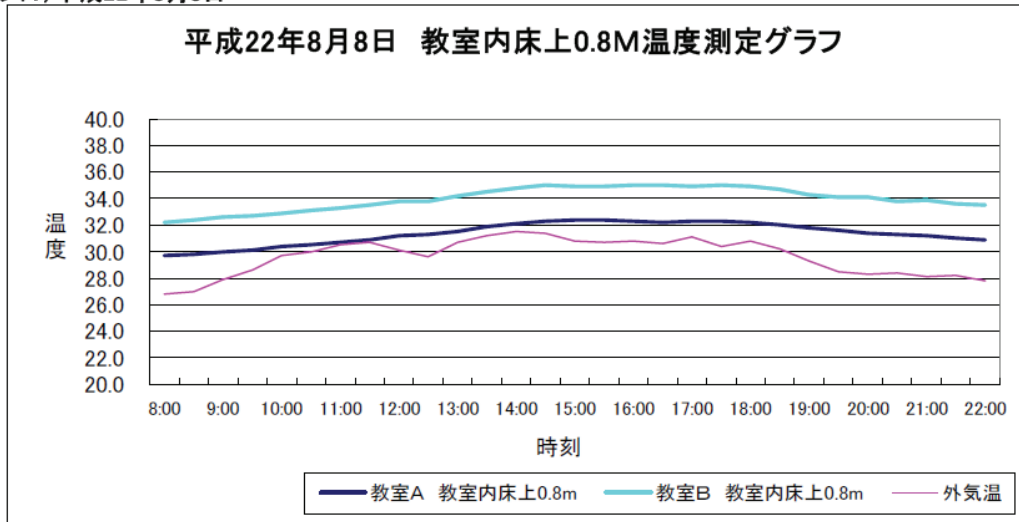
教室内床上2m	施工面(教室A)	未施工面(教室B)	温度差
ピーク時の温度差	33.7°C	35.5°C	1.8°C

(グラフ:3)平成24年8月18日



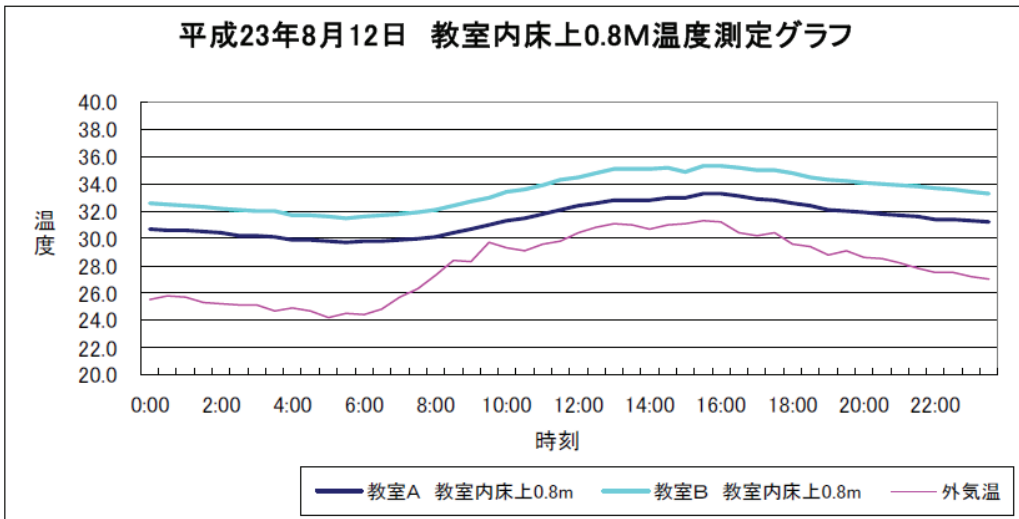
教室内床上2m	施工面(教室A)	未施工面(教室B)	温度差
ピーク時の温度差	32.4°C	34.3°C	1.9°C

(グラフ:1)平成22年8月8日



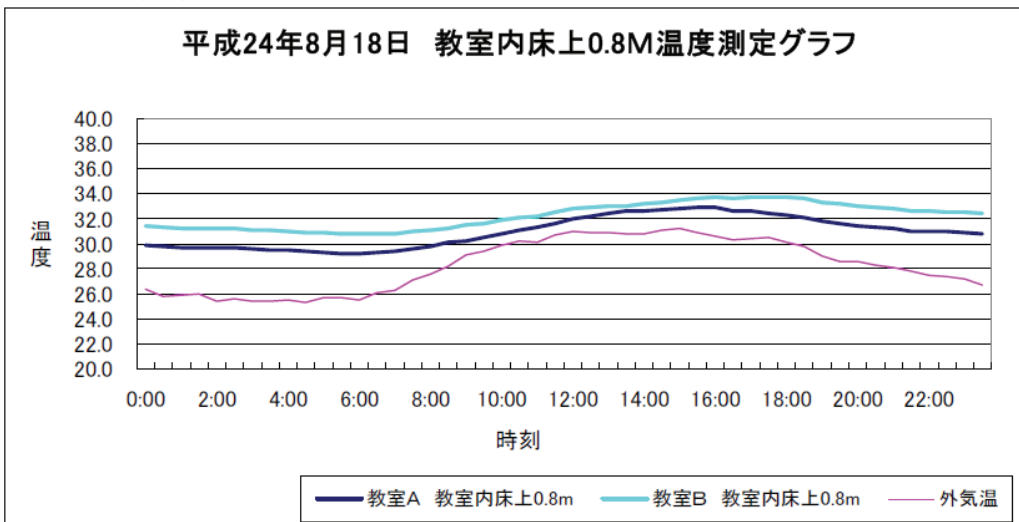
教室内床上0.8m	施工面(教室A)	未施工面(教室B)	温度差
ピーク時の温度差	32.3°C	35.0°C	2.7°C

(グラフ:2)平成23年8月12日



教室内床上0.8m	施工面(教室A)	未施工面(教室B)	温度差
ピーク時の温度差	33.3°C	35.3°C	2.0°C

(グラフ:3)平成24年8月18日



教室内床上0.8m	施工面(教室A)	未施工面(教室B)	温度差
ピーク時の温度差	32.1°C	33.6°C	1.5°C